

広島大学 校友会だより

特集

在学生たちのHCD

ホームカミングデー



Hiroshima University Alumni Association

広島大学校友会

スーパーグローバル大学の校友会

広島大学長・広島大学校友会会長 浅原 利正

世界レベルの教育と研究

昨年、広島大学は文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」のトップ型13大学の一つに採択されました。「世界大学ランキングトップ100を目指す力のあ
る、世界レベルの教育研究を行うトップ大学」として評価されたものです。また、一昨年には、やはり文部科学省の大型プロジェクト「研究大学強化促進事業」の支援対象機関に選定されました。

平成16年の国立大学の法人化以降、広島大学は「ナショナル&リージョナルセンターとしての総合研究大学」という目標を掲げ、世界に通用する大学としてのポジション確立を目指して、海外諸大学との提携など国際的な活動や、教育や研究の高度化などさまざまな施策を積み上げてきました。こうした努力が、10年経って“新しい芽”として見えるかたちになってきたのだと思います。

オール広大でつながる組織

もう一つ、法人化にあたって広島大学が取り組んだものがあります。それが「校友会」の立ち上げです。

大学の置かれた環境が流動化することは予想されました。そのなかで“トップクラスの国立大学”というステイタスをキープし、さらにステップアップしていくには、大学の努力はもちろんですが、同窓生や元教職員など

広範な皆さんのお力を集めることが重要です。

それまでの広島大学同窓会は、学部単位の組織や体育会の同窓会が中心でした。そこで、体育会同窓会が中心となって「学部も時代も立場も超えて“オール広大”でつながるサポート組織をつくろう」と提案し、平成19年2月に誕生したのが「広島大学校友会」でした。

大学の成長を喜んでほしい

私が広島大学で学生生活を送ったのは半世紀も前です。まだ自由に海外と往来することはできず、留学など、一般の学生にとっては“夢”でした。それが、いまや教育においても研究においても、地球規模で人と情報が行き交う時代になりました。卒業生としては「懐かしさに浸れる大学であってほしい」という気持ちが大きいと同時に、「変化した時代にあっても、広大にはトップを走る大学であってほしい」という気持ちもあります。これらの気持ちを広大へのエールへと昇華させていくのは、実は、校友会の一つの機能ではないかと、私は考えています。

校友会では、毎年11月の第一土曜にホームカミングデーを開催しています。思い出のキャンパスで同窓生、在学生と交流を深めていただくと同時に、大学の現況についても知っていただければ幸いです。



存在感増す海外校友会

設立から8年経って、海外の広島大学校友会も広がっています。学部や時代を超えたネットワークは、当然のことながら“国籍”も超えて広がっています。かつて広島大学に留学した経験を持つ方々を中心に、海外校友会が次々と開設されており、その数は、昨年11月現在で15にもものぼっているのです。

これらの海外校友会は海外の校友会同士がつながることと同時に、日本人学生が留学やインターンシップでその国で生活することになったときの拠り所となり、卒業生が海外赴任したときの人脈となり得ます。

広島大学がグローバル大学として成長するとき、校友会の存在はさらに強力なサポーターとして存在感を増すはずです。

今後、広島大学がスーパーグローバル大学として世界で評価される大学へと前進するとともに、校友会もよりグローバルに発展していくことを願っています。

お知らせ

浅原学長は、平成27年3月31日で任期を終えます。

広島大学校友会だより

Vol.17

C O N T E N T S

特集

在学生たちのHCD

ホームカミングデー

3-6

第8回 広島大学ホームカミングデー 7-8

講演会 学部・研究科企画 等

校友会SUPPORT FILE

9-10

課外活動援助団体
硬式ソフトボール部(男子・女子)
ドリームチャレンジ賞受賞
広島大学霞管弦楽団
平成26年度 学生支援報告
課外活動援助金/ドリームチャレンジ賞

先輩インタビュー

11-12

楽天証券株式会社 代表取締役社長

楠 雄治さん (1986年文学部卒業)

キャリアは自分の力で拓くもの。
そのための土壌をつくるのが大学です。

広島大学 NEWS PICK-UP

13-14

ビッグプロジェクトと広大

国際競争力のある大学へ
スーパーグローバル大学「トップ型」
研究開発成果でイノベーション創出
ひろしまアントレプレナーシッププログラム
国家課題に取り組む
ゲノム編集法を用いた研究開発プログラム

研究成果

広大発のトランジスタモデルが世界標準に

広島市大規模土砂災害

学生ボランティア団体、地元でも奮闘
など

広島大学海外校友会情報

15

広島大学大連校友会設立 など

在學生 たちの HCD

ホームカミングデー

卒業生の皆さんに「年に1回は、母校に来ていただきたい」というホームカミングデー。実は、在學生にとっても年に1度のビッグイベントです。参加してくださった方は、サタケメモリアルホール前の広場を、ピンクのブルゾン姿で走り回っている在學生たちを覚えておられるはず。それがHCD（ホームカミングデー）学生チームです。第8回には総勢35人の在學生たちが結集して、さまざまな企画を展開しました。

「先輩、写真を撮らせ 先輩見つけ隊」



4年間で600人以上の「広大の輪」

HCD学生チームに受け継がれる企画があります。それは「手つなぎ写真」。卒業



生、在學生などの写真を撮影し、プリントアウトしたものを横に並べて掲示します。撮影時に両手を広げていただくので、並べるとまるで手をつないでいるように見えます。時代、性別、学部、在学・卒業、学生・教員の垣根を越えた「広大に関わる人」がつながる輪となります。

「手つなぎ写真」の企画を先輩からバトンタッチされるのが“先輩見つけ隊”。ホームカミングデーの当日、カメラとホワイトボードを持って「広大卒業生の方を探しています！」と叫んでいる学生たちです。第8回ホームカミングデーでも90人の手つなぎ写真を撮影。これまでの4年間で撮影した写真は600余枚にのぼり、ホームカミングデーに掲示する手つなぎ写真は毎年増えていきます。



◀平成26年10月31日金曜日夜。翌日のホームカミングデーを前にHCD学生チームは遅くまで入念に打ち合わせを続けた。

てください!」

レポーター

大澤 拓匡 (教育学部1年)
4月、HCD学生チームが新入生勧誘のために開催したプレゼンテーションで参加を決めた。「刺激的な人と出会って想像もしてなかった経験ができた」と振り返る。



「手つなぎ写真」を企画した先輩の富家紬さんに聞きました。

ホームカミングデーの理念を具体化したかった

先輩と「つながる」企画を

4年前、私たちがHCD学生チームの中核になったとき考えたのは“学生らしい企画”。ホームカミングデーの理念は「在学生と卒業生との途切れない輪・和」でしょう。そこで、「つなぐ」をテーマに自分たちならではの企画を考えました。

卒業生をただお迎えするんじゃなくて、「交流」し「つながる」ことを目指そうと。それが「手つなぎ写真」です。

「来てよかった」と感じたい

企画なんて初めてだったので、すべて手探り。でも「前例がないから自由にやろう」と開き直って進めました。

写真の撮り方から貼る場所まで、具体化するには細かいことをいっぱい考えなければなりません。大変だったけど、一から創り上げていく作業は本当に楽しかった。

4月から私も“卒業生”。「帰ってきてよかった」と感じられるHCDにしてくださいね。



富家紬さん。春からは社会人です。

「先輩見つけ隊」はひろしまフラワーフェスティバルでも声かけをしています。

HCD学生チームは4年前から、5月の大型連休に広島市で行われる「ひろしまフラワーフェスティバル」にも参加しています。HCDのことをご存知ない方にも知っていただきたい。もっとたくさんの先輩を見つけない。東広島キャンパスを知らない方にも「広大の輪」に加わっていただきたい。そんな思いからブースを出展しました。

ぜひ広島大学校友会のブースで、「手つなぎ写真」にご参加ください。



「写真を撮りに行こう」を動機に

第6回HCD 手つなぎ写真リーダー

永島 優介さん (経済学部4年)

「手つなぎ写真」はHCDの趣旨がよく分かる企画です。在学生と卒業生がつながっているのが、目で見てわかりますから。卒業生が、「手つなぎ写真があるから、今年も行こう」と思うような企画として続いてほしいですね。



みんなで考えた「写真プラスα」

第7回HCD 手つなぎ写真リーダー

安崎 優太さん (経済学部3年)

気を配ったのは、チームの意識をすりあわせ、みんなが一つになって取り組んでいくこと。それまで掲示していなかったレストランの中などに写真を飾らせてもらえるようになったのも、メンバーと何度も話し合っ取り組んだ成果です。



「広大の輪」をひろげたい! いつか、キャンパスを取り巻く環をつくりたい!

在学生たちのHCD

ホームカミングデー

ホームカミングデーは7カ月間の集大成

ホームカミングデーには、卒業生の皆さんだけでなく一般の方々も多く来場されます。皆さんに楽しんでいただく企画も、HCD学生チームは用意しました。

今年度のチームがスタートしたのは4月。ホームカミングデー当日は、7カ月にわたる活動の集大成だったのです。

レポーター

室上 大樹 (文学部1年)
ホームカミングデー1か月前にチームに参加。このページの取材を通して、何カ月もにわたる積み重ねの内容を知った。今年のHCDに活かしたいと考えている。



お好み焼き

「学生時代の思い出はお好み焼きの香ばしいソースの匂い」という卒業生は多いことでしょう。そこでHCD学生チームは毎年、オタフクソース(株)が行っている学園祭支援企画に応募。昨年8人がオタフクソース本社の研修に参加して本格的な広島風お好み焼きの焼き方を受講しました。さらに練習を重ねて技術をメンバー全員で共有。当日は鉄板や機材も無料で借り受けて、260枚のお好み焼きを焼き上げました。



激しい雨のなか、お好み焼きを焼き続ける健気な姿! この姿でオタフクソースの「学園祭屋台コンテスト」特別賞を受賞しました。

美酒鍋

東広島キャンパスのある西条は日本三大酒造地のひとつで『酒都』と呼ばれています。この酒蔵で蔵人さんたちの賄いとして作られていたのが「美酒鍋」です。第8回のHCDではこれを企画に取り入れました。

調理と販売だけでなく地元の酒蔵を紹介しようと、山陽鶴、亀齢酒造などにも取材。何もかも初めてづくしで手際もあつたと思いますが、担当したメンバーはやり遂げた満足感でお腹いっぱいでした。



事前にメンバーの部屋に集まって何度も練習をしたが雨は想定外。しかし「お好み焼きとのセット販売」などアイデアで完売しました。

ステージ企画

特産品を出展してくださる連携市町のブース紹介など、イベントのガイド役となるのが、サタケメモリアルホール前のステージ担当です。広場で休憩する来場者に楽しんでいただくためにクラブやサークルの協力を得てパフォーマンスも披露。HCD当日は大学祭も開かれるので早くからサークルに出演交渉するなど、見えない苦労もあります。



特産品紹介のため事前取材も。



クラブ、サークルの協力で盛り上げ。

HCD 学生チームの7カ月

4月



新入学生を対象に、メンバー勧誘の説明会を開催。約20人が集まって盛り上がりました。……でも残ったのは2人。どうして? 課題です。



第8回HCD学生チームがスタートしました。この時点で中心メンバーは2年生約10人。3・4年生もサポートしてくれるけど「自分たちにできるだろうか」と不安いっぱいでした。

5月

卒業生との接点を広げるために毎年、広島市のフラワーフェスティバルにブースを出展します。新チームのデビューです。



メンバー同士の親睦を深めるためのイベントは、広島市民球場でカープの試合観戦です。

6月

ゆかたまつりは広大生のイベント。HCDを学内で知ってもらおうと参加しました。



夏休み

企画が固まり担当も決まりました。担当ごとにミーティングを重ねて、細かい詰めを行いました。



【写真左】
平成26年リーダー
中野 加奈子さん(法学部2年)

【写真右】
平成26年副リーダー
加藤 葵一さん(総合科学部2年)

悩んで励まされて—2年生リーダーの成長記

毎年、リーダーを務めるのは2年生。平成26年度のHCD学生チームを率いたのはこの二人でした。「リーダーを引き継いでなかなかうまくいかず、二人で頭を抱えたことも度々でした」「落ち込んだとき支えてくれたのはメンバー。励ましの声が一番効きました」と、7カ月間を振り返ります。HCD後の反省会での「涙」は苦勞と感謝の表れだったのでしょうか。

しゃべり場

「在学生と話ませんか」という呼びかけで始まった企画です。キャンパスが移転したこともあって、「今の広大には懐かしさを感じられない」という卒業生も多いと聞きます。逆に在学生からは「広大が広島市内にあったなんて信じられない」という声も。この溝を埋めるには話すことが一番です。

ブースには広島にキャンパスがあった頃の写真を掲示しています。写真を見ながら、先輩方の学生生活を僕たちに話してください。時代や環境が違って、僕たちと同じ年頃の人たちが何を考えどんな毎日を送っていたのか知りたいし、僕たちのことも知ってほしい。同じ広大生なのだから。しゃべり場がより心地いい場所となるようHCD学生チームスタッフ一同がんばります！

「もっとPRしなければ！」と反省しきり。



広島のカンパスの懐かしい写真も揃えました。もっと多くの卒業生と話したかったと残念がるメンバーも。

11月1日



前日は遅くまで会場の設営やブースの準備、下ごしらえなど。当日は朝7時に集合して「ガンパロー!!」。



STEP UP HCD

リーダーが語る

HCD 学生チームの6年

チームの土台づくり

平成21年リーダー

嘉藤 裕司さん(平成22年教育学部卒) 気軽に引き受けたものの学生は僕だけ。ゼロからの学生チームスタートでした。大学祭やE-storm実行委員会、プラスバンド部などと一緒に、PRのために広島市でパレードをするなど手探りの連続。正直、ここまで拡がるとは思っていませんでした。



多くの学部生が参加することにこだわって

平成22年リーダー

祖一 澄人さん(平成25年経済学部卒) 「学生チーム」が本格的に始動した年。メンバーを集め、学生だけで企画を練りました。目指したのは「全学部生が参加するチーム」。大学院生や留学生も巻き込んで結果としてメンバーは24人にまで拡大しました。すべて初めての経験だったけど、その分、達成感は大きかったですね。



実験的な企画に取り組みました

平成23年リーダー

東 信伍さん(平成26年経済学部卒) 広島市のフラワーフェスティバルに初めて参加。HCDへのステップとして、実験的な企画をみんなで考え、イベント運営を経験できたという意味で良かった。この時撮影させてもらった写真をHCDにつなげることもできました。ただ、HCD当日は大雨。忘れられないHCDです。



卒業生と在学生の橋渡しとしてのHCD

平成24年リーダー

松本 渚さん(総合科学部4年) 「帰ってきてもらうために、帰る場所(HCD)を知ってもらおう」と在学生へのアプローチに力を入れました。ステージで「お好み焼き早食い競争」など让学生在参加する企画も取り入れ、事前に学内に広報して。在学生の姿を見てもらうことが、卒業生の方々との橋渡しにもなるでしょう。



学生自身が楽しむことを忘れないように

平成25年リーダー

吉田 加奈さん(総合科学部3年) サークルの紹介など、現在の広大生の活動を体験していただく場を初めて設けました。卒業生をおもてなしすることはもちろんですが、それとともに在学生にもHCDを認知してもらうこと、そして何よりも、私たちが在学生自身がHCDを楽しむことを忘れないように活動しました。



レポ ー ト



年に1回、校友が東広島キャンパスに集うホームカミングデー(HCD)。第8回を平成26年11月1日(土)に開催しました。一時激しい雨が通り過ぎたものの、一般の方も含めて多くの方が、全学あげてのさまざまなイベントに参加してくださいました。



オープニングセレモニー

広島大学新旧3合唱団の在學生、卒業生による「故郷・HCDスペシャルバージョン」で始まったセレモニー。締めくくりは全員による「大学歌」合唱でした。



浅原学長・校友会会長のごあいさつ



司会は中国放送アナウンサー、久保田夏菜さん(文学部卒)



文化講演会「生きる」



アルピニスト・野口健さんが、自らの登山経験をもとに「生と死」に向き合ってきた意味を語りました。



HCD学生チーム紹介

リーダーの中野加奈子さん(法学部)、副リーダーの加藤獎一さん(総合科学部)が半年間かけて準備したイベントをガイド。一生懸命さが会場に伝わりました。



「広島大学の歴史」展

サタケメモリアルホールロビーでは、恒例のパネル展が開催されました。懐かしい写真にジッと見入る卒業生も。



HCD 学生チーム企画

ホール前広場では在學生たちがさまざまなイベントで来場者をおもてなし。

連携市町の物産展



学部・研究科企画等

当日は東広島キャンパスの各学部・研究科で、それぞれの特長を活かした独自の企画が展開されました。毎年恒例の人気企画も育ってきています。

総合科学部・総合科学研究科



日本人学生及び外国人留学生による留学報告会

生物生産学部・生物圏科学研究科



食料・環境問題国際シンポジウム
「アジア諸国における安全な食料生産環境の実現」

法学部・経済学部・社会科学部



講演会
「出入国管理行政をめぐる最近の話題」
法務省入国管理局審判課長 丸山 秀治氏

国際協力研究科



基調講演
「日本の国際協力：過去、現在および将来展望」
元国連大使 大島 賢三氏

文学部・文学研究科



文学部で味わう
世界のティー・タイム

理学部・理学研究科



生物科学同窓会記念講演会
「理学部の思い出あれこれ」
卒業生 小阪 敏和氏

工学部・工学研究科



研究科長挨拶及び近況報告

先端物質科学研究科



研究室公開

教育学部・教育学研究科



モーツァルト作曲オペラ
「フィガロの結婚」ハイライト上演



理学研究科地球惑星システム学専攻
「広島セミナー」

教育・国際室



11月2日(日)



たおやかで平和な共生社会創生プログラム
第1回国際シンポジウム
「平和な共生社会創生への挑戦」

総合博物館



展示・発表
「まなぶ・はたらく・くらすⅡ」



第8回企画展
「学術模型が拓く研究の最前線—広島大学のチカラpart2」

霞地区合同

(医学部・歯学部・薬学部・医歯薬保健学研究科・原爆放射線医学研究所・大学病院)



11月8日(土)
霞キャンパス

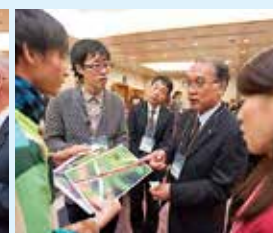


講演会
「走る喜びの革新」の先に…
マツダ(株) 広報本部本部長 工藤 秀俊氏

ズラリと並ぶ物産販売 TENT を目当てに来場される方も少なくありません。

懇親会

懇親会は旧交を温める場であるとともに、在学生たちと直接話して「いまどきの学生」のリアルな姿に触れていただく機会でもあります。



第8回課外活動援助団体

硬式ソフトボール部 (男子・女子)

男女そろって全国大会へ

広大硬式ソフトボール部は昨年夏、インカレ全国大会に勝ち上がりました。女子は初、男子は3年ぶり14回目です。さらに、この大会で男子は初めてベスト8に進出。準々決勝で1点差で敗れたものの、「できる!」という確かな手応えをつかみました。

しかし、男子チームの新キャプテン佐藤さんは表情を引き締めます。

「いや、現実はそんなに甘くない。強豪大学は選手の層も厚くコンスタントに勝つ。準々決勝で全国のレベルの高さを思い知らされました」—では、どうやったら広大ソフトボール部が強豪大学に勝てる?

「守りの軸となるのはキャッチャー、ピッチャー、ショート、センターという“センターライン”。ウチは、このラインがしっかりしているので守備は安心できる。打撃を強化して“点が取れるチーム”を目指します」

2年後には、全国制覇も可能にしたいと、佐藤キャプテンは胸を張りました。

新チーム、始動!

12月の朝。霜が降りたグラウンドで20人ほどが声を上げながら、男女それぞれの練習メニューに取り組んでいました。しかしよく見ると、女子チームに混じってノックしている男子の姿が。ピッチング練習の相手をし

今からでも始められるソフトボール チームの特徴を活かして全国大会へ

ているのも男子部員のようにです。

「男子と合同で練習できるのは少人数の利点。男子はスピード感が違うので刺激になります」と、女子チームの古瀬キャプテン。昨年の中心メンバーが抜けた後、卒業した上級生や男子チームの協力を得て、もう一度基礎から鍛え直そうとハードな練習メニューに取り組んでいます。

男子、女子、それぞれの目標に向けて、新チーム、始動です。

ソフトボールならではの面白さ

ソフトボールは、基本的なルールは野球と同じですが、ボールが大きいのでなじみやすいと言われます。実際、「広大入学後に始めた」という部員も多いとか。

中学まで野球少年だった佐藤キャプテン。「ソフトボールには野球にない面白さがある」と言います。塁間が短く一瞬の判断が勝負



男子キャプテン
佐藤 優介
(教育学部2年)



女子キャプテン
古瀬 加奈子
(教育学部2年)

を左右する、そのスピード感と緊張感。ピッチャーの球種も多彩で、「やってみたらハマる」と太鼓判。

女子チームの古瀬キャプテンも「目標に向けて全員が同じ方向を向いて頑張る。チームスポーツの部活の醍醐味はそこ」と言い切ります。

新年度も全国大会に出場して、校友会の「課外活動援助金」に応募してください。



現在の部員は男子13人、女子8人。上級生や大学院生の協力もあり「人数をハンディにしたくない」とは言えけれど、新入生の加入が待たれる。

平成26年度 学生支援報告

課外活動援助金

22のクラブ、サークル、個人に 総額435万円を援助

全国・世界的規模の大会に出場・活躍した課外活動団体や個人に対し、遠征費、奨励費を援助するのが課外活動援助金。「学問以外でも充実した学生生活を送ってほしい」という願いがこめられています。8年間の援助団体は延べ126、援助額は1375万円にのぼっています。



【第8回課外活動援助金授与団体名】

アーチェリー部	ソフトテニス部
エスキーテニス部	卓球部
剣道部	トライアスロン部
硬式ソフトボール部(男子)	馬術部
硬式ソフトボール部(女子)	バスケットボール部(男子)
硬式庭球部	バレーボール部(男子)
自動車部	バレーボール部(女子)
水泳部	法学研究会
吹奏楽団	ヨット部・女子ヨット部
水中ホッケーサークル	陸上競技部
漕艇部	水泳(個人)

ドリームチャレンジ賞

32の学生の「夢」に 総額502万円を支援

「夢に挑戦するための贈り物」として広島大学同窓会が創設したドリームチャレンジ賞。第3回からは広島大学校友会が活動資金を助成しています。対象となるのは「学生の自主的で創意工夫に富んだ提案」。今年は、学生からの応募の中から32件が採択されました。



第8回ドリームチャレンジ賞受賞

広島大学霞管弦楽団

80名が心をひとつに

霞キャンパスから力強い音色を届ける

500人を魅了する演奏を

霞管弦楽団は、その名のとおり霞キャンパスを拠点に活動するオーケストラ。ももとは少人数の室内管弦楽団として発足しましたが、それから約20年、少しずつ部員数が増え、いまでは80名を超える規模に成長しました。

みんなの目標は毎年4月に行われる定期演奏会。毎年500名を超える観衆が集まるイベントです。それに加え、2014年は秋公演も開催しました。ここでも300人の観客が集まったとか。霞管弦楽団の底力を感じます。

「発表の場が多いと、みんなの練習に対する取り組み方が変わって、表情が真剣になるんです」

話してくれた青山部長と栗井副部長の口調が熱を帯びます。

音楽を通して、「医療人」として成長

合同練習は週に2回、合計6時間。実習や実験で忙しい中、メンバーはそれぞれスケジュールを調整しながら集まります。練習の後で実験に戻ることも珍しくありませんが、それでも「今以上に活動の場を広げたい」と、部長、副部長は声を揃えます。そこには、音楽を通じて「医療人」として成長したいという思いがあるようです。

「先日、解剖実習などへの献体を申し出て下さる方々の前で演奏しました。演奏後、どんな思いで献体登録をされたのかなどさまざまなお話を聞くことができた。音楽をやっていた良かったと思います」(青山部長)

これ以外にも学会や医療関係の研修会、老人ホームや病院での口ビコンサートなど、オファーがあれば霞管弦楽団は積極的に外に飛び出します。



部長
青山 雄一郎
(医学部3年)



副部長
栗井 明日香
(医学部3年)

8年連続、ドリームチャレンジ賞受賞

霞管弦楽団は、第1回から8回連続してドリームチャレンジ賞を受賞しています。第8回の授与式では、受賞者を代表して青山さんが謝辞を述べました。

「管弦楽はいろいろな楽器が音を奏でるでしょう。自分の演奏がどんな役割を果たし、他の楽器に対してどんなバランスで響けば美しいのか…、常に周りとの調和を考えながら演奏します。医療の現場も、医師や看護師、薬剤師や管理栄養士などが一体となって患者さんをサポートするチーム医療が主流になりつつあります。これは、管弦楽ととても似ている。ドリームチャレンジ賞の申請では、そうした考えを織り交ぜながらアピールをしました」

今回の助成金はクラリネット購入に当てる予定。新たな楽器の参加で、その音色にますます磨きがかかりそうです。



部員の約3割は楽器未経験者だが先輩の指導のおかげで練習は順調に進む。



昨年秋の演奏会の舞台練習にて。今年の定期演奏会は4月26日(日)に広島市の東区民文化センターで開催予定。

【第8回ドリームチャレンジ賞採択テーマと採択者】

活動テーマ	所属	被授与者名	活動テーマ	所属	被授与者名
国立大NO.1を目指して	教育学部	川西 真奈美	人力飛行機の設計・製作	工学部	後藤 靖法
インターネットを媒介とした学習開発領域の挑戦～理論と実践の往還に向けた新たな取り組み～	大学院教育学研究科	吉岡 真梨子	「オーケストラで培う医療人の心構え」	医学部	青山 雄一郎
体育会男子バスケットボール部全国大会入賞と海外展開へ～バスケットボールによる国際交流～	文学部	武内 康佳	ダンスによる地域貢献と指導員に必要な部員のスキルアップ	工学部	田川 悠太
電子書籍の出版社の設立	工学部	北村 拓也	学生・教師・専門家のコラボレーションによる授業改善研修システムの構築	大学院教育学研究科	渡邊 巧
幼児理解を深める質的研究方法の応用可能性～複雑経路・等至性モデルに着目して～	大学院教育学研究科	濱名 潔	アドバンス・ケア・プランニングの普及と本土の病院と大崎上島との地域連携の推進	大学院医歯薬保健学研究科	前田 梨絵
帝釈台で新たに発見した洞窟群の測量(広島大学探検部)	工学部	金柿 雅仁	ファッション×国際協力～ファッションショーから広がる女性の可能性～	大学院教育学研究科	伊達 文香
第39回ひろしまフラワーフェスティバル出展	法学部	梅本 明日香	英語による本格演劇	総合科学部	上野 裕介
西条を酒と灯りのまちに	総合科学部	松本 紋佳	広島大学における環境事業の推進	生物生産学部	中村 虎之介
海と川を行き来するクロダイに回遊生態:太田川におけるシジミ食害の実態解明	大学院生物園科学研究科	甲田 和也	大学祭工作教室	総合科学部	梶田 梨絵
広大バスケットボールプレイヤー岡崎修司の支援・応援を通じて、広島にバスケでつながる風景を	理学部	松江 穂	広島県に住む外国人に日本語を学ぶ機会を提供するとともに、異文化理解を深める交流を行う	教育学部	牛尾 瑞貴
教科書を通じてラオスと広島大学双方の学生の学びを支援する	経済学部	川副 健	外から人を見ることで医療人としてのグローバルな資質を高めるとともに、世界平和に向けての理解を深め、実践する。	医学部	富岡 真乃
第64回全日本学生法律討論会への参加	法学部	吉本 有佑	IDEC ってどんなトコ?～世界を知ろう!～	大学院国際協力研究科	一木 星
体育会 硬式女子ソフトボール部の活動の充実化	理学部	寺井 はるひ	音楽で地域とつながる東広島市内の小学校での音楽教室の実施とその発展	文学部	久納 早智
学生の表現の場である大学祭を運営し、大学を活性化させ、さらにそれを発展させる。	教育学部	高木 達也	被ばく者と若者が語り合う場を	総合科学部	松本 渚
全国大会優勝、そして総合杯の獲得を目指して	工学部	大三 直人	インカレ準決勝進出	工学部	森下 篤志
保育者と大学院生が共同した実践研究の検討～保育実践への活用に着目して	大学院教育学研究科	伊藤 優	小型のEarth bagのエコドームを作ることによって地域を活性化し、子ども・高齢者・学生の「生活満足感」「いきがい」を促進する。	大学院教育学研究科	中村 孝

キャリアは自分の力で拓くもの。 そのための土壌をつくるのが大学です。

楽天証券株式会社 代表取締役社長 (兼 楽天(株)常務執行役員)

楠 ^{くすのき} 雄治 ^{ゆうじ}さん (1986年文学部卒業)



広島大学文学部からSE(システムエンジニア)、そしてネットビジネスへ。楽天証券社長の楠雄治さんのキャリアはダイナミックに広がっています。そこからは、今居る環境を土台に「できること」「すべきこと」を考え、行動してきた人間の小気味よい生き方が見えてきます。

動き出せば 目標は見えてくる

卒業したのは文学部ですが、私のキャリアは、システム企業の、それもSE(システムを設計するエンジニア)としてスタートしました。まったく畑違いです。

昭和60年当時はシステム系が急成長していた頃です。コンピュータは将来性が大きく面白い業界だと興味を持ったけど、周囲は教員や公務員志望ばかりで就職課にも情報はない。自分で調べ会社に電話をして、外資系のDECというシステム会社に絞りました。文系でも大丈夫と言われたし、数学も得意だったんですが、実際には大変でしたよ。半年間は研修浸け、毎週テストがあって。

研修が終わると、いきなり現場です。クライアントの所に放り込まれて、分からないなりに、お客さんの話を聞きながらシステムを組み、提案していく。私は金融担当だったので、金融やファイナンスのことも理解しなければならぬ。ずいぶん勉強させてもらいました。

そのおかげで、次に目指したいものが見えてきた。「自分でビジネスをしたい」と思うようになったんです。

キャリアチェンジのための 留学

さあ、そのためにどうするか。まず、ちゃんとビジネスの勉強をしようと。で、英語を勉強し直しシカゴ大学のビジネススクールに留学することにしました。DECには8年勤めました。まったくの私費留学。渡米2日前まで出勤し、後は貯金を取り崩して節約しながら1年半。でも、ここで身につけたことは、ものすごく大きかった。



■楠雄治さんのプロフィール

文学部史学科から日本デジタルイクイップメント (DEC) 株式会社 (現 日本ヒューレットパッカド) に入社。SEとして経験を積んだ後、32歳で米シカゴ大学に留学、MBAを取得した。外資系コンサルタント会社を経て、DLJディレクトSFG証券に執行役員として入社。楽天証券㈱と商号変更の後、代表取締役役に就任。

■楽天証券㈱

住友銀行と米投資銀行がジョイントして立ち上げたインターネット証券会社。2003年に楽天㈱が株式を取得。株式売買だけでなく国内・海外の商品先物取引や貴金属積立・現物取引も行い、顧客の資産の総合的な運用サービスの充実を目指している。

ビジネスでも何でも自分の力だけでできるわけではありません。さまざまなパラメータ、外部変数があって、それを考え合わせながら意志決定していくわけでしょう。フレームワーク—決定するために考え方を整理する方法を、座学とディスカッションで繰り返しながら身につけていくんです。そりゃ、想像していた以上にハードでしたよ。

ただ、ビジネスや組織を見る目は、確かに変わりました。帰国して外資系のコンサルタント会社に入ったんですが、クライアントに関わると「ここに課題がありこういう解決策がある」ということが、ザッと見えるようになったんです。

今やっていることを次、その次にレビューとして活かすことを常に考えるスタイルも、留学中に身についたのかもしれない。



アピールされますね。「大学時代にこういう活動をしてリーダーシップを発揮した」とかね。でも、私たちが見たいのはポテンシャルです。大学も学部も、何をやってたかも関係ない。この人はセルフモチベーションが高くて自分の頭できちんと考えられるか。自分で課題を見つけて自己解決していく力があるか。それを判断したい。だから、面接では発言に対してどんどん突っ込んでいくことにしています。ちょっと深く聞くと、だいたい分かります。

大学時代に「考える力」を養う

いや、私は「大学なんてどうでもいい」と言ってるわけじゃないんですよ。考える力は、大学でつくられる。私も、思想とか考え方のベースは広大時代の5年間でできたと思っています。

考える力は、何をしたから養えるというものじゃない。僕は、とにかく本を読みました。ビジネス本じゃないですよ、世界文学です。岩波文庫を買って読みまくりました。大学生には時間がある。利用してほしい。

それから、よく言われてるんですが、英語をしっかりと勉強すること。今は海外に行くチャンスが開かれているので、どんどん留学して自分の世界を広げること。チャンスがあれば、ぜひそうすることをお奨めします。

リスクをとってチャレンジする

日本でのネット証券の立ち上げに参加できたのも、こうしたキャリアが認められたのでしょう。IT、ビジネス、ファイナンスを経験しているわけですから。

ネットビジネスには「こう行けばこうなる」という地図はない。真っ白い紙を広げて、そこに自分たちで地図を描いていく、そういう商売です。社員にも、それぞれの仕事で「仮説を立ててチャレンジする、ダメならすぐに引返して次のことを考える」という姿勢が要求される。リスクをとらずに安全な道を選ぶようにする人には、楽天グループは非常に居心地が悪いかもしれません。

楽天の常務でもあるので、グループに応募される学生さんの最終面接もやっていますが、皆さん同じようなことを



写真提供:広島大学文書館

楠さんの学生時代

◆文学部で西洋史を専攻。「ノートルダム清心から講師で来ておられたシスター阿部の授業は3年間、1対1。週1回、ヘブライ語で書かれた旧約聖書を向かい合って翻訳するんです。フランス革命が専門の岡本先生のゼミも1人。フランス語をとったのが僕1人だけだったんでね」贅沢な時代だった。

◆アルバイトはNHK。照明や録音スタッフとして取材に駆け回っていた。カーブ取材のために宮崎キャンプに同行することも。今でも、セリーグではカーブファン。パリーグではもちろん楽天。オフィスのある楽天タワーには、楽天が日本一になったときの記念グッズが展示されている。

■取材の後で

加藤 奨一 (総合科学部 2年 / 写真右)

楠さんのお話は驚きの連続でした。特に「常に考えていることはある」と言われたこと。新しいことへのチャレンジはそれ上で果たせることですね。

松本 渚 (総合科学部 4年 / 写真中)

大学院での2年間で「考えるベースを作るための時間にしよう」と決めました。学問と向き合っても、社会を視野から外さないよう心していきます。

大澤 拓匡 (教育学部 1年 / 写真左)

楠さんの行動力に圧倒されていましたが、お話をうかがって、その前に「綿密に調べ、じっくり考えてこられた」ことが分かって納得できました。



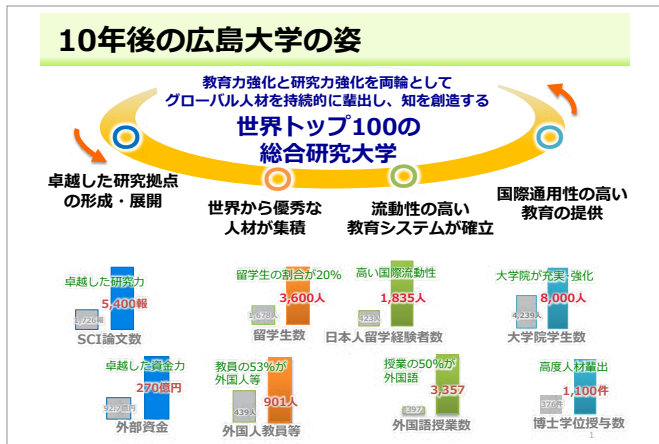
ビッグプロジェクトと広大

国際競争力のある大学へ

スーパーグローバル大学「トップ型」

広島大学は、早くから大学国際化を積極的に進めてきました。その延長線上に「世界をキャンパスとして展開する広島大学改革構想」を策定。これが「スーパーグローバル大学創成支援」の「トップ型」大学として選定され、支援を受けることが決定しました。

「スーパーグローバル大学創成支援」は、文部科学省が高等教育の国際競争力の向上を目指してスタートさせたビッグプロジェクト。その中で「トップ型」は国際水準の教育研究を行い10年間で世界の大学トップ100を目指せるトップ大学と位置づけられています。広島大学は「①卓越した研究拠点の形成・展開 ②国際通用性の高い教育の提供 ③流動性の高い教育システムの構築 ④世界からの優秀な人材の獲得」を進めるための、さまざまな取り組みを行っていきます。



研究開発成果で
イノベーション創出

ひろしまアントレプレナーシッププログラム

専門分野を土台に起業家マインドを持つ人材の育成を目指す文部科学省の「グローバルアントレプレナー育成促進事業 (EDGEプログラム)」に、広島大学の「ひろしまアントレプレナーシッププログラム」が採択されました。理工農医療系・人文社会系など幅広い分野を対象に「起業化能力育成科目」や「起業化トレーニング科目」、対話型ワークショップ他による「起業化実践型研修科目」などを文理融合環境の中で提供。ここから人材を育成し、新たなイノベーション創出支援までを体系化して、自立的なイノベーション・エコシステムの構築を目指します。

国家課題に取り組む

ゲノム編集法を用いた研究開発プログラム

日本が直面する課題解決のためにさまざまな科学技術を結集する文部科学省の「国家課題対応型研究開発推進事業」に広島

大学原爆放射線医科学研究所 松浦伸也教授の研究が採択されました。ゲノム編集法を用いて放射線感受性の個人差を規定する遺伝的素因を見つける研究です。東日本大震災後の原発事故で低線量放射線被ばくによる健康リスクの不安が拡がる中、放射線防護の一方向として、成果が期待されています。

研究成果

広大発のトランジスタモデルが
世界標準に

HiSIM研究センター

広島大学が産官の協力を得て開発したトランジスタモデル「HiSIM-SOTB」が日本で4つめの世界標準に認定されました。

さまざまな電子部品に使用される集積回路は、さまざまなトランジスタを組み合わせることで機能を作り出しています。このトランジスタを設計するとき欠かせないのが、トランジスタ特性を記述したトランジスタモデル。回路の特性を正確に予測するために、世界中の回路設計で共通のトランジスタモデルが使用されます。

広島大学HiSIM研究センターは、2007年に日本で初めての世界標準モデルに認定され、以降、産官学で次々とHiSIMファミリーを開発。これまで3つが世界標準と認定されています。HiSIM-SOTBは極低電圧分野の回路設計・製品開発に対応するものであり、これまで以上に広範な普及が期待されています。

広島市大規模土砂災害

学生ボランティア団体、
地元でも奮闘

OPERATION つながり

平成26年8月豪雨による広島市の大規模土砂災害では74人が亡くなり、多くの人の生活が奪われました。東日本大震災後に結成された広大学生のボランティア団体「OPERATION つながり」は9月30日まで連日被災地に入り復旧を支援。その様子はテレビなどでも報道されました。



広島大学も医療や土木調査などの人員を派遣。学内募金による約500万円を義援金として日本赤十字社に寄託するなどの支援を行っています。

なお、「OPERATION つながり」の代表、鬼村はるかさんは、12月に広島土砂災害被災地ご訪問の天皇、皇后両陛下からねぎらいの言葉を受けました。

表彰

河野教授と杉山教授が受賞

第71回中国文化賞

中国文化賞(中国新聞社主催)は、中国地方の文化・学術・地域貢献の各分野で功績を刻んできた人々を顕彰するもの。その71回目の受賞者に、広島大学医歯薬保健学研究院の2教授が選ばれ、11月3日に授賞式が行われました。

広島大学病院副院長、医学部長などを歴任した河野修興教授は、難治性呼吸器疾患に治療の道を拓いた実績で受賞。放線菌、乳酸菌の研究で受賞した杉山政則教授は現在薬学部長を務めています。

子どもに手をさしのべる夜回り先生

第23回ペスタロッチェ教育賞

広島大学大学院教育学研究科は1月8日、第23回ペスタロッチェ教育賞を花園大学客員教授の水谷修さんに贈り、広島大学サタケメモリアルホールで表彰式を行いました。

水谷さんは通称“夜回り先生”。定時制高校の教師時代から深夜の繁華街のパトロールに取り組み、多くの若者と触れあってきました。表彰式後の記念講演では、子どもたちを取り巻く問題について熱く語り、聴衆を魅了しました。



課外活動

全日本吹奏楽コンクールで銀賞

広島大学吹奏楽団

昨年10月18日、広島大学吹奏楽団が、中国地方代表として第62回全日本吹奏楽コンクール全国大会に出場し、銀賞を受賞しました。全国大会出場は2年連続12回目です。



14年ぶりにインカレ進出

女子サッカー部

1月、兵庫県で行われた「第23回全日本大学女子サッカー選手権大会」に、広島大学女子サッカー部



が中国地区第3代表として出場しました。結果は1回戦で敗退しましたが、14年ぶりのインカレ出場は貴重な経験となりました。

RANDOM PICK-UP

海外向け「広島留学生情報サイト」

留学生と日本人学生がつくる「Explore HU」

日本への留学を考えている海外の学生に向けて、広島大学への留学情報を発信するウェブサイトがスタートしました。いま広大に留学中の海外の学生が中心になり、自分たちの「リアル留学生活」をレポート。日本語、英語、中国語の3カ国語が用意されています。制作にあたっては日本人学生も協力しています。



Explore HU http://www.hiroshima-u.ac.jp/explore_hu/

広島大学は海外提携大学を中心に留学生を積極的に受け入れており、現在、学部・大学院を含めて約1,100人の留学生が学んでいます。

被爆樹木の種で 平和へのメッセージを世界に 「グリーン・レガシー・ヒロシマ」

広島大学は、未来へのメッセージ「平和・希望・共生」を世界中に伝えるために、広島市内の被爆樹木の種子を海外協定校に贈る取り組みを3年前から始めています。これは「グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブ」に参画した取り組みで、UNITAR(国際訓練調査研究所)、ANT-Hiroshima、広島県、広島市、広島平和文化センター、広島市植物公園なども協力。このグリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブの取り組みは、平成26年12月に日本ユネスコ連盟の「プロジェクト未来遺産2014」に登録されました。

これまでオーストラリアのラ・トロープ大学、グリフィス大学などの協定校に寄贈。種子は無事に発芽し、広島の平和・希望のシンボルとして大切に育てられています。



広島大学への留学生の多くは、帰国後それぞれの国の教育、ビジネスなどの分野で活躍しています。こうした人たちをネットワークするために、各国で広島大学海外校友会が設立され活動しています。アジアを中心に拡がる「広大の輪」。昨年秋以降のムーブメントをご報告します。

2014.10.30

広島大学上海校友会（師生聯誼会）開催

於：上海師範大学外賓楼

中華人民共和国のビジネス拠点、上海で広島大学校友会が開催され、来賓の朱 自強 上海師範大学長をはじめとする元留学生ら35人が出席しました。

【上海校友会（師生聯誼会）】

広島大学中国校友会の支部として2009年に設立。会長をつとめる許 敏さんは広島大学大学院工学研究科博士課程を修了。現在は上海交通大学自動車研究院長。



2014.11.15

広島大学中国校友会（師生聯誼会）開催

於：首都師範大学国際文化大厦



中華人民共和国における最大の広島大学校友会。北京市周辺の元留学生など約80人が参加して開催されました。この日開催された「日本語スピーチコンテスト」の入賞学生も参加。幅広い年代が集う盛大な会となりました。

【中国校友会（師生聯誼会）】

学生や研究者として広島大学に在籍し現在中国で活躍している人たちの同窓組織として2005年に設立。会長は教育学研究科修了の林 佐平さん(中国教育国際交流協会常務理事)。

2014.11.16

広島大学大連校友会（師生聯誼会）設立

中国東北部の拠点都市大連に広島大学校友会が設立されました。中国校友会の3番目の支部です。大連市のホテルで開催された設立総会には約40人が参加。広大への中国人留学生第1号である宗鶴山さんも招待されました。



【大連校友会（師生聯誼会）】

広島大学中国校友会の支部として設立。会長の金龍さんは広島大学大学院工学研究科修了生で現在は多興科技(大連)有限公司董事長。

2014.12.12

広島大学台湾校友会開催

於：台北市内

昨年「広島大学台湾センター」を開設するなど交流が深まっている台湾。広島大学の留学フェアもここで開催されています。12月に開催された校友会には約50人が参加しました。



【台湾校友会】設立は2009年。会長は世新大学教授の陳炳崑さん。広島大学大学院社会科学研究所修了生。

2014.12.26

広島大学ミャンマー校友会開催

於：ヤンゴン市内レストラン

ミャンマー校友会は昨年3月に設立されたばかり。設立会合が「日・ミャンマー外交関係樹立60周年記念事業」の一つとして開催されるなど、国家レベルの交流が広がっています。ミャンマー元日本留学生協会(MAJA)の初代会長も広島大学の前身校の一つ、広島高等師範学校で南方特別留学生として学ぶなど、以前から深い交流がありました。



【ミャンマー校友会】2014年3月に設立。東ヤンゴン大学長のチョー・チョー・カウンさんが会長をつとめています。

第8回ホームカミングデー 寄付

第8回ホームカミングデー開催のご案内をさせていただいたところ、広島大学校友会（ホームカミングデー）及び広島大学基金に対して、以下のとおりご寄付をいただきました。

広島大学校友会（ホームカミングデー）

寄付者数 個人183名、団体1団体

寄付額 1,408,000円

広島大学基金

寄付者数 296名 寄付額 6,694,000円

広島大学校友会（ホームカミングデー）にいただいたご寄付は、ホームカミングデー経費として活用します。

また、広島大学基金にいただいたご寄付は学生支援経費（海外研修支援事業等）として活用します。

大変ありがとうございました。今後とも広島大学並びに広島大学校友会をどうぞ宜しくお願いいたします。